

福岡県福津市における運動部活動の地域展開を踏まえたジュニアスポーツの環境整備に向けた四者連携協定を締結

— 指導者の質を制度として保証する全国初の取組 —

福津市、福岡県、公益財団法人福岡県スポーツ協会、公益財団法人日本スポーツ協会

福津市、福岡県、公益財団法人福岡県スポーツ協会、公益財団法人日本スポーツ協会の四者は、福岡県福津市における中学校運動部活動の地域展開を踏まえ、ジュニアスポーツの環境整備を持続可能な形で推進するため、「福岡県福津市における運動部活動の地域展開を踏まえたジュニアスポーツの環境整備に向けた協力体制に関する連携基本協定」を締結します。

協定締結式 日時：令和 8 年 2 月 1 日（日） 13 時 30 分開式
場所：福津市健康福祉総合センター「ふくとびあ」

1 協定締結の背景

全国的に、中学校運動部活動を取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。教職員の働き方改革や少子化の進行を背景に、部活動の地域展開が進められる一方で、これまで部活動が果たしてきた教育的価値や指導環境をいかに継承・発展させていくかが共通の課題となっています。

福津市では、こうした状況を踏まえ、平日の教職員の勤務時間内は学校教育活動としての部活動を継続しつつ、勤務時間外および休日については、市が責任主体となる「市認定地域クラブ」を設立して活動を行う仕組みを構築してきました。

本協定は、この取組をさらに発展させ、**指導者の質の確保を個人の善意や努力に委ねるのではなく、制度として保証する**ことを目的に、関係機関が連携して支える体制を構築するものです。

2 本協定の特徴

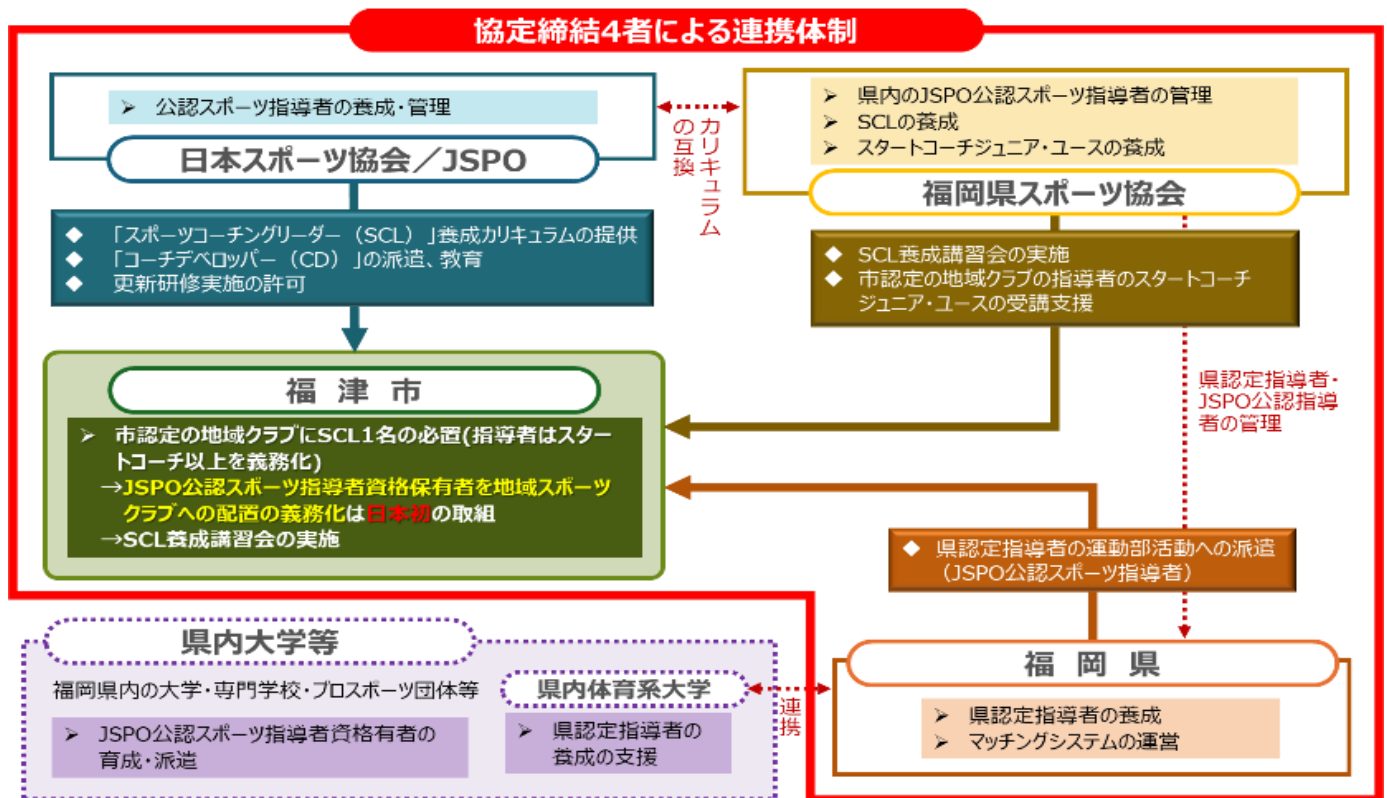
本協定の最大の特徴は、福津市認定地域クラブに関わる指導者に対し、公益財団法人日本スポーツ協会が制度化する公認スポーツ指導者資格を基盤として、指導者の質を明確に位置付け、保証する点にあります。

令和 7 年度に実施した中学生および保護者へのアンケートからは、地域展開への期待と同時に、指導者の指導観や関わり方、安全配慮、責任の所在に対する不安の声が確認されました。

こうした声を受け、福津市認定地域クラブに関わる全ての指導者に対し、「スタートコーチ・ジュニアユース」資格の取得を必須とし、各クラブにおいて少なくとも一人は「スポーツコーチングリーダー」資格を有する者を配置する体制を整えます。

3 4者の役割

本協定に基づき、4者はそれぞれの専門性と立場を生かし、次の役割を担います。



福津市

本取組の実施主体として、市認定クラブ制度の構築・運営、指導者資格必修化を含む質の保証の仕組みづくり、学校・地域・関係機関との総合的な調整を行います。あわせて、子供や保護者に対し制度の趣旨を丁寧に説明し、安心して活動に参加できる環境を整えながら、継続的な改善を行います。

福岡県

スポーツ・教育施策を所管する立場から、国の施策動向との整合を図りながら、本取組に対する支援および助言、県が養成した指導者の紹介を行います。また、本協定に基づく取組の効果を検証し、県内市町村への周知を図ります。

公益財団法人日本スポーツ協会

公認スポーツ指導者資格制度を所管するスポーツ統括団体として、講習会実施に関する助言、資格付与に関する業務を行うとともに、本取組で得られた知見を、今後の指導者養成制度の充実や全国的な展開に活用します。

公益財団法人福岡県スポーツ協会

県内スポーツ振興の中核団体として、福津市認定クラブ指導者が養成講習を円滑に受講できる体制づくりや、必要に応じた支援を行うとともに、本取組を県内における参考事例として共有します。

4 今後の展望

本協定に基づく取組は、福津市における実践を起点としながら、今後、指導者養成のさらなる充実を目的として、4 者が連携し、県内の大学等に対して協力を働きかけていくこととしています。本取組を通じて得られる成果や知見を整理・発信することで、中学校運動部活動の地域展開における、持続可能で質の高いモデルの構築を目指します。

5 協定調印式について

日時：令和 8 年 2 月 1 日（日） 13 時 30 分開式

場所：福津市健康福祉総合センター「ふくとぴあ」健康プラザ

調印者

- 福津市長 福井 崇郎（署名者：薄 俊哉 福津市教育長）
- 福岡県知事 服部 誠太郎（署名者：人づくり・県民生活部スポーツ局長 後藤 孝幸）
- 公益財団法人日本スポーツ協会 会長 遠藤 利明
（署名者：同専務理事 森岡 裕策）
- 公益財団法人福岡県スポーツ協会 理事長 寺崎 雅巳
（署名者：同常務理事 稲富 勉）

登壇者

- 福津市：福井 崇郎 市長
- 福津市中学生スポーツ文化推進協議会長：中平 稔人